

研究課題番号	1-1906
研究課題名	汚染土壌中のセシウム固定化機構の解明と実用減容化技術の開発
研究実施期間	令和元年度～令和3年度
研究機関名	物質・材料研究機構
研究代表者名	田村 堅志

1. 委員の指摘及び提言概要

HIV へのセシウム吸着の微細構造の解明という学術的な成果により、脱着法と回収法への手法開発に役立つ知見が得られた。汚染土壌の処理に適用する可能性を有する技術に関する基盤的なデータが得られ、所期の目標に対して一定の成果が得られている。土壌汚染の処理への適用が期待されるが、各種湿式方式による汚染土壌の減容化と処理後環境対策に関して、大規模設備へのスケールアップなどに関する成果は不十分で、開発された減容化技術の実用化に向けた課題、コストの検証に関する説明が欲しかった。また、提案のプロセスフローについて仮定上の物質収支的な検討なども望まれる。

2. 採点結果

評価ランク：A